

2023年 運営報告



🏠 2024年1月1日撮影・新居の屋上より

2023年も皆様の温かいサポートにより、子どもたちは安心して暮らし、成長することができました。この年も皆さまのお力添えがあってこそその喜びであり、感謝の念に堪えません。誠にありがとうございます。



2023 年の出来事

2 月 チベットのお正月、奈良・和歌山県にてチベット診療&法要、 チベット医学生クンサンとヌモの研修旅行



チベット歴 2150 年、水の卯年になり、アムチの知人であるラマ・クンサン・ヌモが関西在住のサポーターに招かれ、日本へ初めて訪れることとなりました。彼らの訪日の主な目的は、チベットの診療と法要に加えて、クンサンは花の栽培やバイオテクノロジーの研修を受け、ヌモは美容室でのヘアカットなどの研修を行いました。二人はまた、日本で里親さんと再会し、何よりも幸せそうでした。



←法要の様子

3 日間の美容研修→



←植物栽培とバイオテクノロジー研修

★夢の日本に到着して一番驚いたことはどこに行ってもゴミがないこと！そして日本人はどんな動きも早いこと。山より海の景色に感動、コンビニでは美味しいものばかり、毎日が刺激的であつという間の滞在でした。こんな素晴らしい体験が出来て本当に私たちは幸せでした！

クンサン&ヌモより

4 月 宮崎に留学していたイシの高校卒業と宮崎国際大学入学



↑高校の卒業式にて



↑宮崎 TV のインタビューにて

中学校 3 年生の秋から、日本の里親さん宅に留学させていただき、温かい愛情と貴重な経験をたくさん受け、この感動的な旅路を辿り、ついに高校を卒業しました。そして、この幸せな瞬間に感謝の気持ちで胸がいっぱいです。また宮崎国際大学への入学という夢を叶えられたことに、心より感謝申し上げます。これからも精一杯努力し、成長していく姿を里親さんやサポーターさんにお見せできるよう、感謝の気持ちを胸に、新たな一步を踏み出していきます。

4月 デチェン、バヌバクタスクールへ入学



ナムギャルスクールを卒業したデチェンは、9年生からバヌバクタスクールへの転校を果たしました。ナムギャルスクールでは全ての授業がチベット語で行われていましたが、新たな学校ではネパール語で社会科や歴史の授業があり、最初は苦労しました。しかし、デチェンは2学期に向けての努力の結果、素晴らしい成績を収めることができました。転校生活を乗り越え、新しい学びで充実した経験を得ているようです。

チュイン、チベット医学校へ入学



チベット正月を終え、チュインはついにボン教のメディカルカレッジに入寮することができました。クンデハウスの施設からは徒歩5分の距離にあり、既にクンサンやヌモも入寮しているため、彼は不安を感じることなく新しい生活をスタートさせました。男子寮にはクラスメートが二人おり、現在ではとても親しい仲間となっているようです。チュインは幼少期からチベット医学に憧れ、その夢がついに叶った瞬間でした。



チミ・タチェン・ヌモ・クンサンの4名は12年生を卒業

このたび、4名は無事に12年生（高校）を卒業することができ、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも精進し、社会に貢献できるような人間になるよう努力してまいります。どうぞ応援のほどよろしくお願いいたします。

5月 チベット医学生たちへ日本鍼灸講座



↑ 講師は日本からお招きした鍼灸師

↓ スライスしたショウガの上にもぐさを置いてお灸



↑ カトマンズ市内の医学生が集合しました

今回は、これまで不定期に行われていたチベット医学生向けの日本鍼灸講座に、18名の医学生が集まりました。講座では、日本と中国の鍼灸の相違や世界各地のさまざまな鍼治療についての話が展開され、その後3時間かけて施術がじっくりと実践されました。チベット医学の特徴は、一人の医者が薬草の収穫から鑑別、調合、診察、そして治療（薬湯、瀉血、鍼灸など）までを担当することです。そのため、このような講座を定期的に行うことは、医学生たちのスキル向上に大きく寄与すると考えられます。今回の講座では、日本語からチベット語への通訳がクンサンによって行われ、医学の知識も交えながら円滑に進行しました。これらの交流を通じて、異なる文化や医療のアプローチに触れ、実践を通して学び合う機会が提供され、有益な経験が得られたことと思います。

6月 NPO法人の（特例特定非営利活動法人）登録完了

昨年末から法人化の検討を進め、賛否をいただきつつも、雑務の増加と引き換えに法人化による活動の明確化や信用力向上のメリットが大きいと判断し、6月7日に法人登録が無事に完了しました。今後も運営においてはこれまで通りのスタンスを維持し、変更点はありません。引き続きのご支援をお願いいたします。

※TCPの税控除について、残念ながら法人成立から半年経過しましたが、会員数もまだ十分ではないため、TCPは特定非営利活動法人の申請は行えません。特定非営利活動法人に認定されるには、条件として会員数が100名以上で法人の透明性があり、法人活動が活発であるなどの要件を満たし、2年以上法人活動を行う必要があります。税控除の対象となるまでには、引き続き時間と努力が必要ですが、これからは皆様と共に成長し、より良い活動を展開していく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

7月 薬草事業とそのリサーチ

長らく考え続けてきた目標の一環として、私たちはチベット医学の薬草の保全とヒマラヤの伝統的な自給経済の促進を図るため、チベットの薬草を栽培することを計画しました。この試験的なプロジェクトは、アムチの仲間たちと共に実施され、薬草の栽培を始める契機となります。同

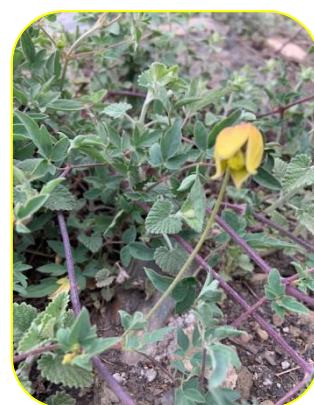
時に、日本で花栽培に携わっている方々のサポートも得て、チベットの薬草を栽培するための具体的なプロセスや可能性について調査を行いました。



↑ ムスタン・ムクティナート



↑ 薬草ステレラ



このリサーチの一環として、私たちは標高4,000メートルに位置するムスタン・ドルパタンをアムチメンバーと共に訪れ、どのような土地でどの薬草が最適に栽培できるのかを確認しました。詳細な計画と専門的な知識を駆使して、この新たな取り組みが地元コミュニティとチベット医学に貢献することを期待しています。



ペマのアルバイト

ペマはカレッジに入学してから、知人の紹介でタメル地区にある日本食レストラン・ロータスでアルバイトを始めました。毎朝6時から10時までカレッジに通い、その後11時半から夜の8時まで、ハードなスケジュールでロータスで働いています。しかし、彼はとても楽しそうで、元気に頑張っています。

8月 イシが4年ぶりの帰国、そして早稲田大学合格



4年ぶりの再会に子供たちは大興奮！

お互いの成長に驚き喜び合っていました。

女子達の第一声は「イシ、美人になったね！！」



4月、宮崎国際大学に入学したイシですが、本命は早稲田大学だったため、挑戦してみることにしました。そして、見事に合格しました。専攻は社会学部で、この9月からは上京し、大学の寮から通学しています。

イシからのメッセージ：いつも暖かく見守って下さりありがとうございます。将来の夢はまだ決まっていませんが、ネパールやチベットの社会問題解決に携わりたいと思っています。4年間の大学生活では勉強だけではなく、アルバイト、サークル活動なども頑張っ自分をもっと成長させていきたいです。今年も宜しくお願いいたします。

医学生の子ミとタチェン、クンサンとヌモは薬草採取研修旅行へ

医学生たち4人は、8月になると一斉に薬草採取研修のためにヒマラヤ山脈の奥地へ向けて出かけました。今回は、子ミとタチェンはマナンからムスタンへの一ヶ月間の旅に挑戦し、一方でクンサンとヌモはドルパタンへの三ヶ月間の研修・探索に臨みました。雨期の真っ最中で、雨具や食料、そしてテントを持参しての旅行。その荷物の重さは相当なものであったことでしょう。

彼らはヒマラヤの大草原で懐かしい文化を追体験し、大自然の中での困難な状況から多くを学び得たようです。雨季の美しい風景とともに、伝統的な生活様式と現地の人々との交流から、医学生たちは大いなる洞察と貴重な経験を得たようです。



ドルパタンは標高 3,900m の高地に位置し、そこにはボン寺があります。ここを拠点にして、クンサンとヌモは3か月間にわたり薬草の採取に従事しました。この期間中、彼らは162種の薬草を学ぶ貴重な経験を積み重ねました。

一方、標高 4,000m 弱の高地に広がるマナンでは、今年は多くの薬草が見つからなかったようです。しかし、その代わりにさまざまな聖地を訪れることができ、新たな巡礼の経験を得ることができたようです。



NP0レ・ワールドとショートムービーの共同制作



2019年秋、旅するエンターテインメント集団「レ・ワールド」はTCPで初めてショートムービーの制作を始めました。そして、4年ぶりに再びTCPと協力し、子供たちも大いに喜びました。この10日間の制作期間は子供たちにとって非常に刺激的で、何よりも充実した時間となりました。制作された2つの作品、「Dream Tickets」と「Never Give Up」はYouTubeでご覧いただけます。

国際ボランティア鍼灸師協会IWVAとパルピンへ無料診療と治療



カトマンズから南へ17kmに位置するパルピンは、昔からチベット人の聖地として知られ、今も多くのチベット寺院や行場が点在しています。しかし、僧侶や行者たちは遠くカトマンズまで行くことが難しく、病院も少ない状況が続いています。このため、今年もTCPはチベット医学生らと共に、パルピンでの診察と一か月分の薬の提供を無償で行いました。

さらに、国際ボランティア鍼灸師協会のメンバー9名も参加し、無料の鍼灸治療も提供しました。鍼灸治療はチベット人たちにも大変好評で、喜びの声が広がりました。

当日の受診者は116名で、そのうち90%は僧尼僧・行者が対象でした。彼らの要望に応え、地域の健康状態向上に寄与できたことは非常に意義深いものとなりました。



↑ 亡命チベット僧らも高齢化、頼る家族もなく日々お修行に励んでいます。

11月 ズームにてオンライン交流会



3年ぶりのオンライン交流会、今回は子供たちが主催し、全ての計画を頑張って立ててくれました。ちびっ子たちの歌や踊りは毎晩のように猛特訓を積み、女子たちはトイレでこっそりと歌の練習に励んでいました。

皆さまが楽しんでいただけたでしょうか。皆さま、次回もどうぞ楽しみに。



卒業生のパサンがTCPの教育係として戻ってきました



2022年9月に教育係の尼さんがTCPを辞職して以来、適した人材を見つけることが難しく、1年以上も求人が埋まらずに悩んでいました。しかし、タイミングよく、パサンが失業したことを知り、次の仕事が見つかるまでの短期間という条件で彼女に働いてもらうことが決まりました。パサンは快く引き受けてくれ、子供たちの世話もよくしてくれています。

TCPを卒業した後、パサンはさまざまな経験を経て、自立し責任感のある素敵な女性に成長しました。そして、TCPにとって頼りになるスタッフとして戻ってきてくれました。これにより、尼さんの辞任後の課題を解決する一翼を担い、組織に新たな風をもたらしています。

12月 引越

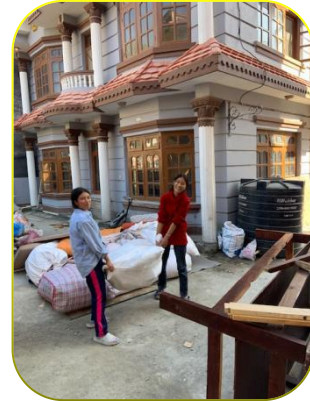
10年間住み続けた住居では、雨期になると雨漏りがひどく、オーナーからの修繕許可が得られる見込みが薄かったため、引っ越すことになりました。新しい住まいは以前の家から歩いてわずか10分の距離に位置しており、具体的にはナムギャルスクールの裏手にあります。



←トラックで
10往復！

子供たち大活
躍しました！

新しいお家→
お部屋が広く
なりました！



新しい場所では、これからもより一層心地よい日々を過ごしていきたいと思います。
新居で皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

カラオケ大会

3年ぶりに開催された日本大使館とネパール日本語教師協会の共催による日本カラオケ大会に、TCPも参加しました。この特別なイベントで、チュズムがソロで中島みゆきの『糸』を熱唱し、見事JICA賞を受賞しました！審査員からは、とても安定感のある美しい歌声と、日本語の質疑応答で誰よりも完璧な返答だったことに感嘆の言葉をいただきました。



恥ずかしがり屋のチュズムが、本当に素晴らしいパフォーマンスを披露しました！日本語の学習においても、毎日コツコツと忍耐強く取り組んできた成果が、今回の素晴らしい結果となりました。



私たちの自慢のチュズム、心からおめでとう！ 来年は誰が熱唱してくれるでしょうか…

新しい仲間二人のご紹介



← ツァムチュ・ドルマ

5歳、女の子、ドルポ出身

長年僧院で生活していたので自立して大人っぽい。
歌声が可愛い。

ペマ・デチェン →

5歳、女の子、フムラ出身

活発で運動神経抜群、チベット語の方言がきつくて今は
会話が難しい。タシ君の幼少期に似ている？



その他のご報告

・昨年度クラウドファンディング支援金の使途



2022 年秋に初めて挑戦したクラウドファンディング、皆さまの温かいご支援のおかげで目標金額 60 万円を達成し、手数料を差引いて実質 52 万円が振込まれました！

支援金の使途は以下の通りです

1, イシの大学進学費用

宮崎国際大学：施設設備費 13 万円、受験費 2 万円、交通費 3 万円、宿泊費 2 万円※特待生として入学費・授業料等免除
早稲田大学：宿泊費 2 万円、交通費 4 万円

※大学独自の奨学金により入学費・授業料免除



2, TCP の子供たちへ

学費の補助 16 万円 (1 万円×16 名分)

制服代 3.5 万円 (ちびっ子達の学生服や通学用靴)

教材費 2 万円 (教科書、参考書)

洋書 2.5 万円 (子供たちが選んだ洋書を購入)

研修費 2 万円 (カレッジ 12 年生チュズム・ペマ・チュイン・タシの 4 名分)

2020 年以降パンデミックの影響とネパールのインフレの圧力の中、イシの大学進学に必要な経費と、TCP の子供たちへ学費や教材のご支援は非常にありがたかったです。心より深く感謝申し上げます。



・TCPの卒業生たちについて

2021年秋、カンドがTCPを去った後、直接の連絡はないものの、親しい友人であるパサンを通じてカンドの現況を知りました。カンドは姉の資金援助により、今夏に無事にフランスへ亡命し、現在はフランス政府の援助を受けて最良の待遇（医療・住居・教育・



職業訓練・毎月1000ユーロの生活費）を享受し、快適な生活を送っているそうです。また、フランスにはチベット難民コミュニティが存在し、彼らは自分たちの文化を維持するためにさまざまな活動を展開しており、カンドも度々参加しているとのこと。夢が叶えられ、新たな環境で充実した生活を送っているカンドにとって、これは本当に素晴らしい出発点となっていると感じています。

ツェデンがTCPを卒業したのは、カンドと同じ頃でした。最初は村の僧院でお世話になり、その後は日雇いの労働で学費を稼ぎ、不定期ながらも通学し8年生を卒業したそうです。将来的には、カンドと同じく亡命手帳を使ってフランスへ行くことを夢見ているとのこと。ツェデンはその持ち前の賢さと行動力で、きっと夢を実現させることでしょう。また、昨年からはツェデンが頻繁にTCPの子供たちとも連絡を取り合い、お互いの絆を確かめ合っているようです。彼らは幼少期からずっと一緒に育ってきた家族。ツェデンの元気な声が聞けることは私たちにとっても大きな喜びです。

カンドもツェデンも、4歳の時から里親さんに大切に守られ、愛されて育ってきました。この絆をひと時も忘れることはないでしょう。いつの日か、彼らが晴々とした笑顔でTCPに戻ってきてくれることを、私たちは心待ちにしています。

・ 2024年の活動予定

・ ナムギャルスクールを卒業し、現在は9年生からクンガやデチェンと同じバヌバクタスクールに進学する予定のペンバ。これからもペンバの成長が期待されます。

・ 来春に10年生を終えるクンガは、その後はカレッジに進学する計画。新しい学び舎での経験が、彼女の将来への一歩となります。

・ 現在カレッジに通う4人の12年生は、チュインを除く3名が卒業後に特別技能枠で日本での就労を希望しています。それぞれが介護、外食枠で特別技能試験に向けて努力しています。将来への夢と挑戦が彼らを前向きに突き動かしています。

・ 引き続き、チベット医学生に対しては日本鍼灸などの講座を提供する予定です。これにより、彼らの医学のスキル向上を支援し、地域社会においてより高度な医療を提供できるよう努めます。特に、日本と中国の鍼灸の相違や世界の鍼治療に関する知識を共有し、実践を通して技術の向上

を促進します。またこの講座は、薬草の栽培やヒマラヤでの薬草採取研修と同様、定期的に行われる予定です。医学生たちがさまざまな分野で幅広い知識と経験を得られるよう、多岐にわたるトピックに焦点を当てています。これにより、地元の医療ニーズに対応できる専門的な能力を養い、地域社会に貢献できる人材を育てます。

・新型コロナ以降、サポーターの減少が厳しい状況に直面しています。このため、日本でNGOフェスタなどに積極的に参加し、支援の輪を広げる活動にも力を入れる予定です。地域との連携を強化し、持続可能なサポート体制を築くことが目標です。

・ムスタンとドルパタンでの薬草事業においては、リサーチと栽培に力を注ぐ予定です。これにより、チベット医学の薬草保全やヒマラヤの伝統的な自給経済を促進し、地域の発展に寄与することを目指しています。

2023年を振り返り

世界情勢は非常に複雑で様々な地域で様々な問題が起きている混沌とした2023年でした。世界経済が悪化し物価の高騰が続いている中で、私たちが何不自由なく安定した運営が出来ているのも敬愛するサポーターの皆さまのおかげです。

2023年12月末現在孤児院で生活している子供の数は、男子10名、女子10名の合計20名。スタッフの数は、チベット医アムチ、調理担当アチャツェリン、教育係パサンワンモ、現地雑務加藤の合計4名。サポーター会員様は、里親サポーター21名、月間サポーター26名、年間サポーター7名、多くのサポーターの皆さまのご支援に、改めて感謝申し上げます。また様々な形でこのプロジェクトを支えて下さっている皆さまにもこの場をお借りして改めて心より深謝申し上げます。これまでの間、私たちはサポーターの皆さまと共に、多くの困難を乗り越え、成果を上げてきました。引き続き、皆さまと協力し合い、より良い未来を築く為に努力してまいります。また何かご質問やご意見、アイデア等ございましたら、ぜひお聞かせくださいませ。皆さまの声は、私たちの活動をより良いものにするための大きな力となります。変動する時代の中で、現地スタッフもボランティア事務局も試行錯誤の連続で運営しております。

最後になりますが、これまでのご支援に心より感謝申し上げます。これからも共に歩み、チベットの子供たちが自らの文化に誇りを持ち幸せで健やかに成長できるよう尽力してまいります。

